

## 大阪市「所有者不明猫適正管理推進事業」実施要綱

## (趣旨)

- 第 1 この要綱は、大阪市(以下、「市」という。)が実施する「所有者不明猫適正管理推進事業」(以下、「本事業」という。)を円滑に推進するために事業の内容を規定するものである。

## (事業の目的)

- 第 2 本事業は、「動物の愛護及び管理に関する法律」の理念に基づき、地域住民による、所有者不明の猫を原因とする生活環境被害の軽減と所有者不明猫の引取り数の減少を目的とする。

## (猫の分類)

- 第 3 飼育方法により猫を次の3種類に分類する。
- 1 飼い猫  
所有・占有の意思を持つ特定の飼い主により、継続的に給餌給水等の世話をされている猫。
  - 2 所有者不明猫(いわゆる野良猫)  
特定の飼い主がなく、屋外で生息する猫。
  - 3 街ねこ  
前項に掲げる猫のうち、本事業の対象となり地域での生息が認められた猫。

## (基本的な考え方)

- 第 4 本事業の実施にあたっては、次の事項に留意すること。
- 1 猫を排除するのではなく、命あるものとして取り組むこと。
  - 2 猫を含め動物を好ましく思わない人の立場を尊重するものであること。
  - 3 不妊去勢手術の実施により、地域での所有者不明猫の減少及びその維持を目指して取り組むこと。
  - 4 住民の合意による、地域の実情に応じたルールに基づき取り組むこと。

## (事業実施方法)

- 第 5 本事業は概ね次の各項に沿って、実施するものとする。
- 1 本事業の実施を計画する地域において、住民等で構成する活動組織を編成する。
  - 2 活動組織は地域住民への本事業の趣旨の理解と合意形勢に向けた取り組みを通じて、地域に応じた住民総意によるルールを策定し、その周知に努める。
  - 3 活動組織は市と事前協議を行ったうえ、地域における活動組織概要及び策定したルールに基づく事業活動計画を添えた申請書を市に提出する。
  - 4 市は申請書の審査の後、適正と認められるものについて、本事業の実施地区と指定した旨、申請者に通知する。
  - 5 指定を受けた地区は、提出した活動計画に沿って本事業を実施する。

## (実施細目)

- 第 6 この要綱の施行に関し必要な事項は、別に定める。

## 付 則

この要綱は平成22年4月1日より施行する。

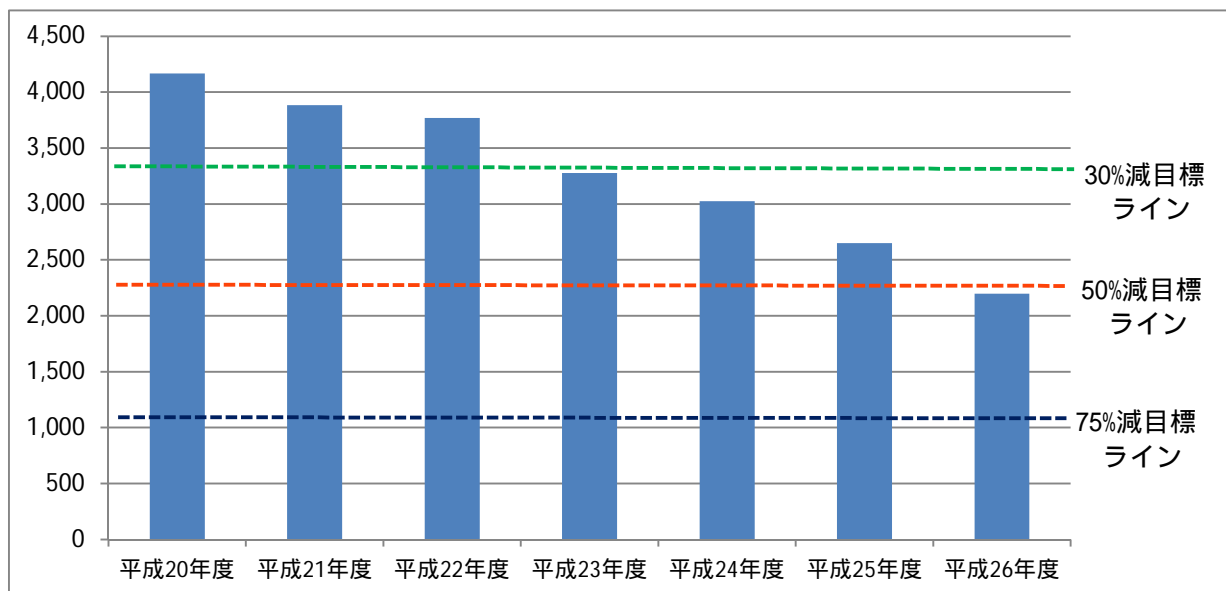
## 付 則

この要綱は平成27年4月1日より施行する。

## 【所有者不明猫引取り数の推移】

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
所有者不明猫引取り数	4,167	3,883	3,770	3,278	3,024	2,651	2,197
平成18年度比	87.2%	81.3%	78.9%	68.6%	63.3%	55.5%	46.0%
前年度比		93.2%	97.1%	86.9%	92.3%	87.7%	82.9%

平成18年度引取り数	目標	
4,777	[30%減] → 3,343	大阪府動物愛護管理推進計画(改正前) 平成20年度～平成29年度
	[50%減] → 2,388	大阪府動物愛護管理推進計画(改正後) 平成26年度～平成35年度
4,286(平成16年度)	[75%減] → 1,071	基本指針(平成16年度比)



## 所有者不明猫適正管理推進事業の年度別手術実施数

年度(平成)	実施地域数	手術実施頭数	手術実施頭数累計
20年度	6	168	168
21年度	7	147	315
22年度	16	286	601
23年度	30	270	871
24年度	24	211	1082
25年度	29	303	1385
26年度	52	436	1821

平成20、21年度はモデル事業として実施

## 猫に関する苦情・相談内訳

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
総数	3,722	3,917	4,072	3,914	4,354	4,530	3,889	4,415
野良猫の捕獲	242	282	318	261	322	313	315	270
捨て猫	221	216	133	95	64	79	57	32
病気・負傷猫	1,294	1,241	1,097	989	1,018	1,096	901	1,019
器物等の破損	41	52	31	37	36	31	51	29
ふん・尿	1,012	976	669	605	781	795	647	638
鳴き声	50	47	40	41	49	48	37	40
エサやり			924	817	911	1,013	747	856
その他	862	1,103	860	1,069	1,173	1,155	1,134	1,531

## 生活環境被害、エサやりに関する苦情相談件数

	苦情相談件数	
	生活環境被害	エサやり
平成19年度	1103	
平成20年度	1075	
平成21年度	740	924
平成22年度	683	817
平成23年度	866	911
平成24年度	874	1013
平成25年度	735	747
平成26年度	707	856

## 事業実施回数による比較

	平成26年度の平均苦情数(1区あたり)			
	生活環境被害		エサやり	
	件数	平成19年度比	件数	平成19年度比
事業を11回以上実施したことがある区(7区)	30	25	43	20
事業を6～10回実施したことがある区(7区)	27	18	30	17
事業を1～5回実施したことがある区(8区)	32	11	36	13
事業を実施したことがない区(2区)	28	6	30	10

: マイナス

## 事業による不妊去勢手術実施匹数による比較

	平成26年度の平均苦情数(1区あたり)			
	生活環境被害		エサやり	
	件数	平成19年度比	件数	平成19年度比
事業で手術を101から200匹実施した区(8区)	32	22	43	23
事業で手術を51から100匹実施した区(5区)	13	30	19	42
事業で手術を1から50匹実施した区(9区)	36	7	40	6
事業で手術を実施したことがない区(2区)	28	6	30	10

生活環境被害・・・糞尿・鳴き声・器物破損

## 所有者不明猫引取り数の内訳(区役所窓口での所有者不明子猫の引取り)

## ・事業実施回数による比較

	平成26年度の平均引取り数(1区あたり)	
	頭数	平成19年度比
事業を11回以上実施したことがある区(7区)	75	107
事業を6～10回実施したことがある区(7区)	78	88
事業を1～5回実施したことがある区(8区)	77	90
事業を実施したことがない区(2区)	128	16

## ・事業での不妊去勢手術実施頭数による比較

	平成26年度の平均引取り数(1区あたり)	
	頭数	平成19年度比
事業で手術を101頭以上実施した区(8区)	73	119
事業で手術を51から100頭実施した区(5区)	73	61
事業で手術を1から50頭実施した区(9区)	80	92
事業で手術を実施したことがない区(2区)	128	16

大阪市「所有者不明猫適正管理推進事業」実施地域の皆様へ

平素は本市動物関係行政に御理解、御協力賜り、厚くお礼申し上げます。

所有者不明猫（いわゆる野良猫）のふん尿などによる生活環境被害や野良猫が繁殖して増えるなど、地域における野良猫に関する問題を解決するため、昨年度より皆様のお住まいの地域で標記の事業を実施していただいております。本事業の実施にあたり、皆様方をはじめ、多くの関係者の方々に多大な御尽力と御協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

このたび、より一層効果的に事業を進めていくための参考とするため、事業を実施されました地域の皆様方の御意見・御感想をお聞かせいただきたく、次のとおりアンケート調査を実施いたしますので、御協力のほどよろしく申し上げます。

問1 この事業を実施したことにより、以前と比べてどのような変化をお感じになりますか。

(1)～(6)について、それぞれあてはまるものを1つ選び、その番号に 印をつけてください。

(1)野良猫の糞尿の被害:	1 少なくなった	2 多くなった	3 変わらない
(2)野良猫の鳴き声の被害:	1 少なくなった	2 多くなった	3 変わらない
(3)野良猫に車や花壇などが傷つけられる被害:	1 少なくなった	2 多くなった	3 変わらない
(4)野良猫に対する住民の皆様之苦情:	1 少なくなった	2 多くなった	3 変わらない
(5)野良猫の数(子猫を含む):	1 少なくなった	2 多くなった	3 変わらない
(6)地域のコミュニケーション:	1 とりやすくなった	2 とりにくくなった	3 変わらない

問2 この事業の全般的な効果についてどのようにお感じになりますか。

次の中からあてはまるものを1つ選び、その番号に 印をつけてください。

- 1 効果があったと思う    2 まだわからないが今後期待できそう    3 効果がなかったと思う（又は今後も期待できない）

問3 事業についてのご意見・ご感想をご自由にお書きください。

（よかったこと・悪かったこと、猫に対する思いや事業実施による意識の変化など）

\*\*\* アンケート調査にご協力いただき  
ありがとうございました。\*\*\*



大阪市動物愛護相談室  
大阪市東成区大今里西 1-19-29  
電話 06 6978 7710

## 平成27年度「所有者不明猫適正管理推進事業」実施地域に対するアンケート結果

## 1 平成26年度不妊去勢手術実績

手術実施匹数	性別内訳	
	オス	メス
436	180	256

## 2 事業に対する意識調査結果（事業を実施した地域住民の方を対象にアンケート調査を実施）

- ・実施方法：平成26年度に事業を実施した地域住民にアンケート調査票（別紙）を配付・回収。  
（平成25年度からの継続実施地域分を含む）
- ・調査期間：平成27年9月～11月（一部未回収）
- ・配布地域：28（うち平成25年度からの継続実施地域は4）
- ・回答地域：21（うち平成25年度からの継続実施地域は3）
- ・有効回答者数：400名

（注）・平成28年1月29日までに回収できたアンケートの集計であり、一部未回収のアンケートがありますので、最終的な数値は変更になることがあります。

- ・アンケート調査結果における各設問の母数は、有効回答者数です。
- ・各選択肢の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入していますので、構成比の合計が100%にならない場合があります。
- ・一部重複回答があったため質問1(6)の合計回答数は401になっています。

## 1(1)から(5)生活環境被害等の変化について

	少なくなった	変わらない	増えた	無回答
ふん尿の被害	230(57.5%)	115(28.8%)	44(11.0%)	11(2.8%)
なき声の被害	247(61.8%)	110(27.5%)	33(8.3%)	10(2.5%)
車・花壇の被害	216(54.0%)	118(29.5%)	46(11.5%)	20(5.0%)
住民苦情	204(51.0%)	143(35.8%)	32(8.0%)	21(5.3%)
野良猫の数	240(59.9%)	112(28.2%)	35(8.7%)	13(3.2%)

## 1(6)地域住民の意識変化について

	とりやすくなった	変わらない	とりにくくなった	無回答
地域コミュニケーション	147(36.7%)	213(53.1%)	21(5.2%)	20(5.0%)

## 2 事業効果について

	効果があった	まだわからないが今後期待	効果がなかった	無回答
事業効果	176(46.0%)	146(37.9%)	36(9.4%)	26(6.8%)

### 3 事業に対する主な意見及び感想〔自由記述〕（記述数203件・一部抜粋）

#### A 好意的な意見（112件）

- ・野良猫が少なくなって良かった。野良猫を避妊してよかった。
- ・ケンカ・鳴き声が少なくなった。清掃して下さるので糞尿の放置等は減った。手術費用もエサやりも大変だと思いますが是非このまま続けてほしいものです。
- ・糞を3Fベランダ、路地にされて困っていたら、ボランティアに相談し木酢液をいただき被害が軽減し良くなりました。私も昔は猫が好きで家にいましたが、お世話が大変で今では飼っていません。日頃の管理、ご苦労様です。
- ・なかなか実行が難しいことを取り組みして大変だと思いますが継続してください。
- ・猫の鳴き声が少なくなり、数が減少したように思います。糞尿の被害がほとんどなくなります。
- ・猫の鳴き声、オス同士のケンカもあまりしなくなったと思う。広く知らせた方がいいと思うが、まだ知らない人が結構いるようだ。いいことだと思うので継続されることを望みます。今迄このような活動を知らなかったのよ勉強になりました。
- ・この度のことで多少なりともお手伝いさせて頂き、役所の対応の良かった事に感謝しています。
- ・猫ボランティアの方々のお陰で、第一に生ごみをあさなくなったこと。子猫が産まれなくなり管理されている猫のみになったこと等、これまで野良猫を見かけると、つい餌を与えたくなくなったが今は安心して可愛い猫を目で追うことができます。この取り組みは大変御苦労なことと思いますが、引き続きお願いしたいものです。
- ・猫の好き嫌いで意見は違うが、とても良い取り組みだと感じているのでずっと続けていただきたい事業です。猫による被害は無くなったように思う。

#### B 否定的な意見（72件）

- ・少しだが野良猫は減った感があるが、エサをやる人は変わらない。牛乳・水・エサなどの食べ散らかしを毎日掃除している。猫がもどして掃除することが増えた。
- ・今いる猫の繁殖は減ったかもしれないが、よそから来る猫もいる。エサをあげている人がいる限りこの問題は解決しないと思います。エサをあげている人が責任をもって他人の家の前の糞も掃除して欲しい。玄関前に糞があったら時間も取られるし気分も悪い。
- ・公園内でエサの後片付けがまだまだ不十分。
- ・かわいいというだけで猫にエサをあげて、糞尿の始末をしない方は責任を持って頂きたい。
- ・家に糞をされる人の身になって欲しい。
- ・始めた頃は猫の数が少なくなっていくものだと思っていたが数は変わらない。次々と新しい猫がくるのでしょうか？

#### C その他意見（19件）

- ・この地域のこの事業に対しての理解、協力はまだまだと感じます。
- ・結局自分の家の周りはスプレーや猫よけ等自身で対策するしかないのかなと思いました。
- ・まだまだ猫をかっていられる方もそうでない方の意識も低いと思われます。どちらもお互いを知らずに敵対していますので事がうまく運ばないようです。もっとコミュニケーションがとれて関心が広がらないと解決の道が見つからないように思います。
- ・糞尿についてはトイレを設置している。自発的に始末してくれる人もいる。個人の駐車場の隅で糞尿をしていると聞くが、立ち入りできなくて掃除ができない。